

蒲田西プラットフォーム（第1回）参加者アンケート集計

プラットフォーム開催日：令和元年12月13日（金）17：00～18：30

参加者数：

アンケート回収数：52

活動ノート回収数：50

（東京工科大16、町会自治会6、介護事業所7、健康体操4、障がい者関係5、シニアクラブ4
子ども食堂1、民生委員児童委員1、青少年対策委員1、自主学习支援会1、
区職員1、不明3）

○参加者アンケート

本日の満足度：平均84.2%

(90%～100%：24人)

- ・ 普段の生活では知り合うことができない様々な職種、年齢の方のお話が聞けてとてもよかったです
- ・ もっとお話ししたかったので、時間がもっとほしいと思いました
- ・ 興味深くワクワクドキドキ。良い時間を過ごさせていただきました
- ・ 自分の視点では気づけないことや、過去の蒲田について知ることができて、もっと蒲田が好きになりました
- ・ 初対面だけど打ち解けることができ、様々な意見交換ができた
- ・ 圧倒的な熱量！知識増えました！
- ・ 何か新しいことが生まれそうな気がした
- ・ 地域のことを考える良い機会になりました
- ・ 蒲田西について良い所を新たに発見することができてよかったです
- ・ より詳しく個々の活動について聞いてみたいと思いました
- ・ ボランティア等に参加することはあっても、実際に地域の人達と地域について語り合うことがなかったので今回は本当に有意義な時間を過ごせたのではと思われる
- ・ 第1回目としては良かった。今後に向けてどう発展するのか、まだよく見えないけれど・・・期待はしている
- ・ 蒲田西についていろんな面で活性化しようと動いていることを知れて良い機会になりました

(70%～80%：24人)

- ・ 具体的な行動に結びつく活動内容がほしかった
- ・ 紙に書くやり方を変えた方がよい
- ・ 時間が不足尻切れでした。内容はとてもおもしろかったです
- ・ 少し時間が短すぎる気がします
- ・ 最後の発表の場が足りませんでした

- ・不慣れな学生に代わり、それぞれの代表の方々が色々なお話ししていただけてよかったです
- ・普段若者と話す機会がないので、今回良い機会に巡り合いました
- ・まだ1回目なのでウォーミングアップした感じです。続けていくことが大切だと思います
- ・ぜひ大田区全体でもっとこういう機会を増やしていただけたらと思います
- ・これからの可能性を考えて。その先の伸びしろを考えて

(50%～60%：4人)

- ・まだよくわからないため

①蒲西の好きなおところ・嫌いなおところ

(好きなおところ)

- ・フレンドリー
- ・庶民的で気楽に住める
- ・交通の便、買い物に便利
- ・下町的
- ・物価が安い
- ・高齢者が活動的
- ・人に熱気がある
- ・駅周辺にお店や施設がたくさんある
- ・ラーメン屋が多い
- ・コンパクトにまとまっていて他の機関と連携しやすい
- ・東京っぽくない
- ・いろいろなイベントが多くあり、交流する団体が多い
- ・近所同士の付き合いが深い
- ・初めて会った人も仲間に受け入れる
- ・自主的な活動が多い
- ・やりたいことがある時に探してみると身近で見つかる
- ・地元意識が強い
- ・工学院の学生さんがいて活気がある

(嫌いなところ)

- ・ 治安が悪い
- ・ 商店がなくなってきた
- ・ ゴミが散乱している
- ・ 地域でまとまろうという動きがあまり見られない
- ・ 近所付き合いが薄い
- ・ 独居老人が多く、対応ができていない
- ・ 弱者に優しくない
- ・ 朝、ラジオ体操で集合できる場所が少ない
- ・ 空気が臭い
- ・ 道が狭い
- ・ キャッチが多い
- ・ 地域活性化が遅れている
- ・ 土地が高い
- ・ 新しいことにチャレンジすることに積極さが低い
- ・ 人が多くて忙しそう
- ・ 犬の糞がおちている
- ・ 自転車が多く飛ばしているのが危ない
- ・ 緑が少ない
- ・ 地域の特長が見えない
- ・ 新しい人を受け入れにくい雰囲気

(どうすればもっと好きになるか)

- ・ 落ち着いた、行きやすい店ができるようになる
- ・ 住民と商店や企業双方にとおてプラスになる街になる
- ・ 町会に若い人が参加する
- ・ 他人に優しい街になる
- ・ ゴミを戸別回収する
- ・ 皆がもっとマナーを守るようになる
- ・ 清潔感のある街になる
- ・ キャッチを減らす
- ・ 治安が良くなる
- ・ 若者が集まれるような街をつくる
- ・ 再開発する
- ・ 各世代が混ざり合って協調して行動する
- ・ 文化的な落ち着いた街になる
- ・ 公園を増やす
- ・ いざという時に住んでいる人みんなで力を合わせ乗り切るようにする

②地域の活動の中での気づいたことや悩み

- ・高齢者への周知の方法
- ・活動を始めるにあたり、場所等どこにアプローチをしていったらよいのか
- ・男性の参加率が低いので、どうやって参加してもらうか
- ・さみしい人が多い
- ・様々な業態のお店が散在している
- ・参加する若者が少ない
- ・人手不足
- ・高齢者と若者が関わるイベントが少ない
- ・高齢者が多い
- ・障害のある方が多い
- ・健康に対する意識が他の地域に比べると高い
- ・地域の問題は思っているよりも多く存在し、この問題を解決するのは簡単ではない
- ・道が狭くて人が多い
- ・外国人が多い
- ・日中独居の高齢者への支援が難しい
- ・シニアクラブの参加者が80代中心で、どうやったら60代～70代の人に
入ってもらえるか
- ・町会自治会活動の老齢化
- ・地域の人々の関心がなかなか上向かない
- ・様々な活動が行われているが、その情報がほしい人のところに届いていない。
情報の一元化が必要。
- ・それぞれの活動で精一杯で、お互いの情報交換などができていない。同じような活動をして
いると、仲間意識というよりも、比較をしたり批判をしたりしてしまう
雰囲気がある。